

## 第3章

# 「個別の教育支援計画」の 様式例と作成上の留意点

### 「個別の教育支援計画」

様式例と作成上の留意点（通常の学級在籍用）

小学校記入例（通常の学級在籍用）

小学校記入例（通常の学級在籍用）

中学校記入例（通常の学級在籍用）

様式例と作成上の留意点（特別支援学級在籍用）

小学校記入例（特別支援学級在籍用）

中学校記入例（特別支援学級在籍用）

### 「個別の指導計画」

様式例と作成上の留意点

小学校記入例（通常の学級在籍用）

中学校記入例（通常の学級在籍用）



個別の教育支援計画.....様式例と作成上の留意点(通常の学級在籍用)

NO. 2 (経年記録表)

児童・生徒名		作成年月日	年 月 日	作成者名	
入学前(幼稚園・保育所・小学校)の情報					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                 ・通常の学級では1ページ目の入学前の情報と同じ内容なので、そのまま転記する。その他に必要な情報があれば、加えてよい。             </div>					
将来の希望		各 期 の 目 標	各期における担任・関係機関による支援		
	入学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学後で初めて立案するときは、できるだけ早い時期に特別支援教育コーディネーターらと共に、保護者と連絡を取り作成をしていく。</li> <li>・各期の目標については、長期的な展望にたって立案(現段階における将来の希望)していくが、無理に全部の時期を埋める必要はない。</li> <li>・保護者や本人の思いを大切にす。</li> <li>・進級や進学などの節目では、保護者と共に見直すことも必要であり、その時点で加筆修正を行っていく。</li> </ul> <p style="text-align: center;">&lt; 中学校(途中)から作成する場合 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校から教育支援計画が上がってくる場合には、小学校高学年までの部分においては、中学校で書き直す必要はない。</li> <li>・中学校以降については、保護者との確認の中で変更があれば、加筆修正していく。</li> <li>・中学校から作成する場合には、小学校までの欄(作成時期以前)は空白になる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな指導をして、どんな成果や課題があったかを記入する。</li> <li>・学校内だけではなく、専門機関での取組の様子や家庭生活での変化なども記入するとよい。</li> </ul>		
	小中学年				
	小高学年				
	中学				
	高校				
	成人				

・このページは、3年ごとに更新することを原則とするが、加筆修正は随時行う。

・NO.2以降は、通常の学級・特別支援学級ともに、同じ様式を使用する。子供の発達時期において、見直しをもつことは、通常の学級でも特別支援学級でも変わりはない。なお、通常の学級については、記入しなくてもよい部分もある。

個別の教育支援計画.....様式例と作成上の留意点(通常の学級在籍用)

NO. 3 (支援の計画表)

平成 年 月 日作成

学 年		児童 生徒 氏名	作成者	所属	
年				職名	
本人の 願 意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習面と生活面(どちらか一方でもよい)における、本人の願いを聞き取って記入する。</li> <li>・本人に発語がなければ、保護者から聞き取る。</li> <li>・この内容は、本年度の目標に可能な限り反映させること。</li> </ul>		保護者の 願 意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左の「本人の願い」欄と同様に保護者の願いを聞き取って記入する。</li> <li>・この内容は、本年度の目標に可能な限り反映させること。</li> </ul>	
	・「本人の願い」「保護者の願い」は、個別の指導計画の「願い」に転記する。				
本年度の 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者と相談しながら、願う姿(この1年で伸ばしたい重点目標)をできるだけ具体的に設定する。</li> <li>・教師や保護者の願いだけでなく、本人のニーズにも照らし合わせる。</li> </ul>		支援の 手 だ て	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考えられる大まかな手だてを記入する。(指導場面や方法など)</li> <li>・学校での取組とともに、家庭での協力も記入する。</li> </ul>	
	現 状 ・ 課 題 ・ 支 援 目 標 ・ 内 容 な ど				
関係機 関の 具 体 的 支 援 ・ 連 携 等	医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人が関わっている関係機関からのアドバイス等について記入する。</li> <li>・関係機関に関わっている頻度(通っている回数など)がわかれば記入する。</li> <li>・かかわりがあった時点で、加筆していく。</li> <li>・連絡先や担当者を明記しておくことで、相談や情報交換を行いやすくしておき、連携して支援に当たることを心がけるようにする。</li> </ul>			連絡先・担当者
	福祉				
	教育				
	地域				
	労働				
	保健				
	その他				
【 評 価 】		<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標に対する具体的な変容を客観的に評価し、記入する。</li> <li>・担任だけでなく、校内委員会で多くの立場から評価すること。</li> <li>・関係機関の担当者からの評価を記入する。</li> </ul>			
【 次年度への引継事項 】		<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して行う支援や、再検討する事柄について記入する。</li> <li>・校内だけでなく、関係機関との連携に関しても引き継ぐことがあれば、記入する。</li> <li>・中学校への引継ぎについては、保護者の同意を得ることが必要。</li> </ul>			
心 理 検 査	検査の種類〔 〕	検査の結果〔 〕			
	検査者名〔 〕	検査月日〔 年 月 日 〕			
検査の種類〔 〕		検査の結果〔 〕			
検査者名〔 〕		<ul style="list-style-type: none"> <li>・知能検査(田中ビネー、WISC- など)の結果を記入する。</li> <li>・特記事項には、大まかな結果の解釈についても記入する。</li> <li>・検査用紙や詳しい分析結果などがあれば、必ず添付しておく。</li> <li>・通常の学級の場合、1枚目に記入欄があるので、ここには記入しない。</li> </ul>			
【特記事項】					

このページは、関係機関との連携を中心に支援内容等を記入し、毎年作成する。加筆修正は随時行う。

個別の教育支援計画

秘

NO. 1 (プロフィール表)

平成 年 月 日作成

ふりがな	学校名			小学校	
氏名	性別		学年	生年月日	
	男		4年	平成 年 月 日 10歳	
住所	〒 - . . . . . TEL ( ) -				
家族構成	祖母(父方)・父・母・姉・弟		健康情報	広汎性発達障害 アレルギー体質、アトピー性皮膚炎	
家庭環境	・父親は長期にわたり単身赴任中 ・祖母には本児の学習面での遅れについては話していないとのこと。				
入学前の情報	・ 11年～13年 保育所。おもちゃの貸し借りや約束が理解できず友達とうまく遊べない。 ・ 14年 本校、通常の学級に入学する。 ・ 16年(3年生) 学習不振のためときどき登校をしづらくなる。(16年度欠席20日)				
本年度までの情報	・理科は得意で、自分の関心のある昆虫の生態については友達に積極的に話していく。 ・通学団登校で、一人だけおいていかれ、みんな先に歩いて行ってしまったことがあったが、本人は気付いていなかったらしい。(母親より)				
学習面での実態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字は3年上から再履修する必要があり、画数が多いものは繰り返しの学習が必要である。</li> <li>・マスの中に文字を書くことはできるが、大きさや形を意識して書くのが苦手である。</li> <li>・文章(物語)を読む際に登場人物の心情の理解が難しい。</li> <li>・2位数の加減ができる。乗法では2位数の筆算は理解している。</li> <li>・2位数を1位数で割る除法はできるが、文章題になると文意を理解するのが苦手である。</li> <li>・人物画は首がなく、顔下から手が出ている。鼻をかかないなど、顔の要素を欠くことが多い。</li> <li>・指先はあまり器用ではなく、はさみで曲線を切ることは苦手である。</li> <li>・片足で立ったり、縄跳びやトランポリンを跳んだりすることは苦手である。</li> <li>・競技のルールを理解を苦手とし、試合では最後まで参加せず、途中で休んでしまうことがある。</li> <li>・昆虫が大好きで、図鑑や百科事典で生態や名称を調べている。(教師によく教えてくれる)</li> </ul>				
生活面での実態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年下の子と遊ぶことが多く、年下のグループの中ではリーダー性を発揮できる。</li> <li>・自分の気持ちや状況を適切なことばで伝えることが苦手である。</li> <li>・自分の好きな物を友達が持っているとき、黙って借りてしまうことがある。</li> <li>・自分の関心があることを一方的に話し続けてしまう。</li> <li>・勝敗のあるゲーム等は勝敗へのこだわりが強い。</li> <li>・注意を受けたり叱られたりすると、原因を考えずに相手を一方的に責める。</li> </ul>				
心理検査等	検査の種類【知能検査】 数研式 検査の結果 [ IQ 偏差値 46 ] 検査月日[平成 年 月 日] 【特記事項】		検査の種類【WISC 】 検査の結果 [VIQ90 PIQ85 FIQ86 VC92 PO85 FD94 PS78] 検査月日[平成17年8月1日] 【特記事項】VIQ とPIQに有意差はない。指示は分かりやすく伝えるとよい。		

個別の教育支援計画.....小学校記入例（通常の学級在籍用）

NO. 2（経年記録表）

児童・生徒名	作成年月日	年 月 日	作成者名
入学前（幼稚園・保育所・小学校）の情報 ・ 11年～13年 保育園。おもちゃの貸し借りや約束が理解できず、一人遊びが多い。 ・ 14年 本校、通常の学級に入学する。 ・ 16年(3年生) 学習不振のためときどき登校をしぶるようになる。(16年度欠席20日)			
将 来 の 希 望	各 期 の 目 標	各期における担任・関係機関による支援	
	入学期		
	小 中 学 年	・ 文章を読み取る力をつける。 （登場人物の心情の読み取り） ・ 算数の文章題の文意を理解する力を付ける。 ・ 自分に気持ちを相手に伝える方法を身に付ける。	・ 国語・算数の2教科については個別指導をする。 ・ 自分の関心があることを一方的に話すのではなく、交代で会話のキャッチボールをする練習をする。
	小 高 学 年	・ 文章を読んでイメージした内容を絵や図に表すことができる。 ・ 算数の文章題を立式して解くことできる。 ・ 相手に「・・・してもいいですか」等の確認をしてから行動できる。	・ 簡単な文章題を図に表すことから始め、イメージする練習をする。 ・ 相手の気持ちを聞いたり、自分のやりたいことを伝えたりする練習をする。
	中 学	・ 中学校の通常の学級で、社会性を伸ばす。	
	高 校	・ 専門学校でパソコン等の情報技術を身に付け、就労につなげる。	
成 人	・ 一般就労をする。		

個別の教育支援計画.....小学校記入例 (通常の学級在籍用)

NO. 3 (支援の計画表)

平成 年 月 日作成

学 年		児童 生徒 氏名	作成者	所属	
4 年				職名	
本人の 願 い	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字や日記が得意になりたい。</li> <li>友達と仲良遊びたい。</li> </ul>		保護者の 願 い	<ul style="list-style-type: none"> <li>落ち着いて学習に取り組ませたい。</li> <li>友達と上手にかかわれるようにさせたい。</li> </ul>	
本 年 度 の 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>算数の文章題を自分で式を立てて、解けるようにする。</li> <li>声をかけてもらった友達と遊ぶことができるようにする。</li> </ul>		支 援 の 手 だ て	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章題を図や絵に表して、式を立て練習をする。</li> <li>友達との遊び方を教師と一緒に加わって教える。</li> </ul>	
現 状 ・ 課 題 ・ 支 援 目 標 ・ 内 容 な ど			連 絡 先 ・ 担 当 者		
関 係 機 関 の 具 体 的 支 援 ・ 連 携 等	医 療	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民病院の 医師のアドバイスを受ける。「広汎性発達障害」で、人とのかかわり方が苦手、相手の気持ちを察することが苦手であり、具体的な場面でのかかわり方を教える必要があるとのことである。</li> </ul>	病院 医師 TEL		
	福 祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童・障害者相談センターで療育相談を受けている。</li> </ul>	児童・障害者相談センター TEL		
	教 育	<ul style="list-style-type: none"> <li>巡回相談で、特別支援学校の先生に授業の様子をみていただき、本人のペースに合わせた学習ができる環境を工夫するようとの助言を受けた。</li> </ul>	養護学校 TEL		
	地 域	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者に、地域の行事に積極的に参加するように勧め、地域の人に接する機会を作っていけるようにアドバイスした。</li> </ul>	町役員 さん TEL		
	労 働				
	保 健				
	そ の 他				
【 評 価 】					
<ul style="list-style-type: none"> <li>算数の文章題を読んで、内容を図や絵で表せるようになった。</li> <li>友達とかかわる時間が増えた。</li> </ul>					
【 次年度への引継事項 】					
<ul style="list-style-type: none"> <li>文字を丁寧に書くことや算数の文章題を中心に、取り出し指導を継続して行う。</li> <li>担当医と連絡と取り、人との関わり方について助言をもらう。</li> </ul>					
心 理 検 査	検査の種類〔 〕		検査の結果〔 〕		
	検査者名〔 〕		検査月日〔 年 月 日 〕		
	-----		-----		
検査の種類〔 〕		検査の結果〔 〕			
検査者名〔 〕		検査月日〔 年 月 日 〕			
-----		-----			
【 特記事項 】					

個別の教育支援計画

秘

NO. 1 (プロフィール表)

平成 年 月 日作成

ふりがな				学校名	小学校	
氏名			性別	学年	生年月日	
			男	1年	平成 年 月 日 6歳	
住所	〒 - . . . . .			TEL ( ) -		
家族構成	父・母・姉・祖母		健康情報	発達障害の疑いがある		
家庭環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自営業を営んでおり、両親共に朝から晩まで働いている。</li> <li>・下校後は、祖母がみている。</li> </ul>					
入学前の情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H17年～20年 保育所に通園した。</li> <li>友達を突いたり、叩いたりしてトラブルになることが多い。</li> <li>じっとしていることが苦手で、音楽など周りの音が気になって落ち着きがない。</li> <li>相手の話を聞くことが少なく、一方的な会話が多い。</li> </ul>					
本年度までの情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メンタルクリニックで発達障害の疑いがあるとわれ、定期的に受診している。</li> </ul>					
学習面での実態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字の読み書きの力が苦手である。</li> <li>・音読が得意でないため、文章の読解に支障をきたしている。</li> <li>・聞き取りや解釈の間違が多い。</li> <li>・一問一答のように、答えが決まっている質問については発言できるが、自分の考えや感想を言葉に表すのが苦手である。</li> <li>・外の景色や、周囲の子の様子が気になるのか、授業中に辺りを見回すことが多い。</li> <li>・指示が理解できず、何をしようか分からないことがある。</li> <li>・人物画は、目、口、耳を描くことができる。</li> <li>・運動が苦手で、走ったり、縄跳びしたりすることを好まない。</li> <li>・歌を歌うことが好きで大きな声で歌うことができる。</li> </ul>					
生活面での実態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の好きなことや得意なことをやり始めると、周りの声かけに気が付かないほど集中する。</li> <li>・気になることがあると落ち着かず、離席することがある。</li> <li>・自分の気持ちを表現することが苦手である。</li> </ul>					
心理検査等	検査の種類【知能検査】 数研式 検査の結果 [ IQ 偏差値 45 ] 検査月日[平成 年 月 日] 【特記事項】			検査の種類【WISC 】 検査の結果[VIQ68 PIQ106 FIQ85 VC64 PO110 FD91 PS100] 検査月日[平成 年 月 日] 【特記事項】PIQがVIQより低い。カード等を用いて、視覚的な手がかりを使って学習を進めるとよい。		



個別の教育支援計画.....小学校記入例（通常の学級在籍用）

NO. 2（経年記録表）

児童・生徒名		作成年月日	年 月 日	作成者名
入学前（幼稚園・保育所・小学校）の情報 ・ H17年～20年 保育所に通園した。 友達を突いたり、叩いたりしてトラブルになることが多い。 じっとしていることが苦手で、落ち着きがない。 話を聞けず、一方的な会話が多い。				
将来の希望		各 期 の 目 標	各期における担任・関係機関による支援	
	入学期		----- ----- ----- -----	
	小中学年	・落ち着いて学習に取り組むことができる。 ・平仮名や片仮名を大きさや形を整えて書ける。 ・自分の気持ちを言葉で表現できる。	・落ち着いて授業に取り組めるように座席の位置を工夫する。 ・マス目の入ったノートにマス目いっぱい丁寧に文字を書く練習をする。 ・困ったことなどを自分の言葉で言えるように機会を捉えて練習する。	
	小高学年	・集中力をつけ、学習意欲を高める。 ・友達と協力して活動できる。 ・自分で確認する習慣を身に付け、忘れ物をしない。	・毎時間の目標「 <input type="text"/> を××できるまで頑張る」等を明確にする。 ・「自分のことは自分でする」姿勢を家庭と連携しながら育てる。	
	中学	・ 中学校の通常の学級で、社会性を身に付ける。	----- ----- ----- -----	
	高校	・高等学校で高校生活を楽しく送る。	----- ----- ----- -----	
	成人	・一般就労をする。	----- ----- ----- -----	

個別の教育支援計画.....小学校記入例 (通常の学級在籍用)

NO. 3 (支援の計画表)

平成 年 月 日作成

学 年	児童 生徒 氏名	作成者	所属
1年			職名
本人の 願 望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちと仲良く遊びたい。</li> <li>・忘れ物をなくしたい。</li> </ul>	保護者の 願 望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文を詰まらずに読めるようになってほしい。</li> <li>・自分の言葉で話したり、表現したりできるようになってほしい。</li> </ul>
本年度の 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分からない時や困った時は、そのままにせず、「分からない」と自分で言う。</li> <li>・計算力をつける。</li> <li>・国語の教科書を大きな声で音読できるようにする。</li> </ul>	支援の 手 だ て	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機会を捉えて、自分のことばで言えるように練習する。</li> <li>・毎日計算問題に取り組み、個別指導をする。音読カードを作り、毎日練習する。</li> </ul>
現 状 ・ 課 題 ・ 支 援 目 標 ・ 内 容 な ど			連 絡 先 ・ 担 当 者
関 係 機 関 の 具 体 的 支 援 ・ 連 携 等	医 療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メンタルクリニックを受診している。発達障害の疑いがあると言われ、今後も定期的に診察を受けていく。担任も保護者の了解の下、定期的に直接連絡を取り合っている。</li> </ul>	クリニック 医師 TEL
	福 祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デイサービスを授業後や週末に利用している。母親の仕事の都合で長期休業中も利用している。</li> </ul>	児童・障害者相談センター TEL
	教 育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育コーディネーターに相談し、今後も友達とのかかわり方や学習時の様子について注意深く見守っていく。</li> </ul>	
	地 域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域子供会に積極的に参加している。他学年の子供たちとも少しずつ交流している。</li> </ul>	町子供会 さん TEL
	労 働		
	保 健		
そ の 他			
【 評 価 】・自分の困ったことを「 で困った」と自分の言葉で伝えることができるようになった。 ・計算力が伸びて、学習することに自信をつけてきた。			
【 次年度への引継事項 】・指示が分かりやすいように視覚的な支援をするとよい。 ・なるべく余分な刺激が入らないように座席を一番前にし、集中できるようにする。			
心 理 検 査	検査の種類〔 〕	検査の結果〔 〕	
	検査者名〔 〕	検査月日〔 年 月 日 〕	
心 理 検 査	検査の種類〔 〕	検査の結果〔 〕	
	検査者名〔 〕	検査月日〔 年 月 日 〕	
【特記事項】			

個別の教育支援計画

秘

NO. 1 (プロフィール表)

平成 年 月 日作成

ふりがな				学校名	中学校	
氏名			性別	学年	生年月日	
			男	2年	平成 年 月 日 14歳	
住所	〒 . . . . .			TEL ( ) -		
家族構成	父・母・弟(小5)		健康情報	アスペルガー症候群、ぜんそく		
家庭環境	・特記事項なし					
入学前の情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 ~ 年 保育園 集団遊びが苦手だった。</li> <li>・平成 ~ 年 小学校 通常の学級に在籍 5年生の1学期、通学団で上級生との関係がうまくとれず、通学団での登下校をいやがったので、母が送り迎えをする。 5年生の夏に、担任の勧めで 病院に相談、アスペルガー症候群と診断される。 以降3ヶ月に1回のペースで、相談を続けている。</li> <li>・平成 年 本校に入学。(通常の学級)</li> </ul>					
本年度までの情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科(特に歴史)が好きで、人名や地名などをよく知っている。</li> <li>・字の形を整えて書くことが苦手である。</li> <li>・部活動への参加を渋ることがあった。</li> <li>・1年生の10月にスクールカウンセラーとの相談を行う。(部活動について)</li> </ul>					
学習面での実態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間をかければ、読みやすい字を書くことができる。</li> <li>・正負の四則計算を理解している。小数・分数の扱いが苦手である。</li> <li>・基本的な平面図形の面積の求め方を理解している。</li> <li>・小学校までに習う漢字をほぼ書くことができる。</li> <li>・わからない漢字を自分で調べて書くことができる。</li> <li>・読めない漢字にルビをつければ、途中で止まらずに音読することができる。</li> <li>・登場人物の気持ちや段落の前後関係を踏まえて、文章の内容を読み取ることが苦手である。</li> </ul>					
生活面での実態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・係や当番の仕事に、まじめに取り組むことができる。</li> <li>・気の合う友達は何人いるが、自分からは積極的にかかわろうとする様子はあまり見られない。</li> <li>・事実を尋ねるような質問については、単語で答えることが多い。</li> <li>・連絡帳に持ち物や連絡の内容を十分に書き取ることが苦手である。</li> <li>・思ったことを素直に口にしてしまい、学級や部活の仲間から誤解をされてしまうことがある。</li> </ul>					
心理検査等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検査の種類【教研式知能検査】</li> <li>・検査の結果【ISS42】</li> <li>・検査月日【平成 年 月 日】</li> <li>【特記事項】</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・検査の種類【WISC - 】</li> <li>・検査の結果【VIQ90:PIQ83:FIQ85:VC91:P090:FD85:PS61】</li> <li>・検査月日【平成 年 月 日】</li> <li>【特記事項】 資料を別途添付</li> </ul>			

個別の教育支援計画.....中学校記入例(通常の学級在籍用)

NO. 2 (経年記録表)

児童・生徒名		作成年月日	年 月 日	作成者名	
<p>入学前(幼稚園・保育所・小学校)の情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 ~ 年 保育園 集団遊びが苦手だった。</li> <li>・平成 ~ 年 小学校 通常の学級に在籍</li> </ul> <p>5年生の1学期、通学団で上級生との関係がうまくとれず、通学団での登下校をいやがったので、母が送り迎えをする。</p> <p>5年生の夏に、担任の勧めで 病院に相談、アスペルガー症候群と診断される。</p> <p>以降3ヶ月に1回のペースで、相談を続けている。</p>					
将来の希望		各 期 の 目 標	各期における担任・関係機関による支援		
	入学期		.....		
	小中学年		.....		
	小高学年		.....		
	中学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の生徒と仲良く過ごしてほしい。</li> <li>・基礎的な学力をきちんと身に付けてほしい。</li> <li>・本人の希望は、部活動を最後までやり遂げたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロールプレイなどを行い、コミュニケーション能力を育てる。</li> <li>・本人にあった課題を用意する。</li> <li>・学習に関して相談する機会を個別に設ける。</li> <li>・担任や部活動顧問による声掛け。</li> </ul>		
	高校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<del>高等学校へ進学。(変更)</del></li> <li>・保護者は、普通科への進学を希望。</li> <li>・本人は、専門学科への進学も考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導をきめ細かく行う。</li> </ul>		
成人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般企業に就職する。 保護者の希望</li> <li>・本人は、自分が好きなことで仕事がしたいと思っている。</li> </ul>	.....			

\* 加筆修正等は随時行う。(上記丸ゴシック体の部分)

個別の教育支援計画.....中学校記入例(通常の学級在籍用)

NO. 3 (支援の計画表)

平成 年 月 日作成

学 年	児童 生徒 氏名	作成者	所属
2年			職名
本人の 願 望	勉強で苦手なところを減らしたい。 友達と仲良く遊びたい。	保護者 の 願 望	友達と楽しく学校生活を送ってほしい。 少しでも学力を伸ばしてほしい。
本年 度 の 目 標	・友達や教師など、他の人に自分の考えが伝わるように話す。 ・学習の用具や提出するプリントを確実に持つてくる。 ・小6レベルの漢字や計算問題などを正確に書き解くことができるようにする。	支 援 の 手 だ て	・教師とのロールプレイ等を行い、望ましい方法について考える。 ・本人にあった連絡の確認の仕方を本人と相談しながら決定する。 ・個に応じた課題を提示する。
現 状 ・ 課 題 ・ 支 援 目 標 ・ 内 容 な ど			連 絡 先 ・ 担 当 者
関 係 機 関 の 具 体 的 支 援 ・ 連 携 等	医 療	・聴覚による情報の記憶が苦手なので、ICレコーダーなどの機器の活用などを考えてみてはどうか。(母親からの聞き取り)	小児科 医師 TEL -
	福 祉		
	教 育	・漢字の学習のための支援として、回数は少なくともよいので、漢字だけを練習するのではなく、文や言葉の中で意味とつなげることを意識した練習をするとよいかもしれない。	養護学校地域支援 担当 先生
	地 域		
	労 働		
	保 健		
	そ 他	・医師との面談では、にこやかに話をしている。本人が自分のことに自信をもつことができるように、小さな事でよいので成功体験を多く積ませることが大切であると思う。	本校SC 先生
【 評 価 】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当医が多忙で連絡調整ができず、直接診てもらうことはできなかった。(来年度以降は可能性あり)</li> <li>・スクールカウンセラーとの相談は、本人も楽しみにしている。</li> <li>・養護学校の 先生からアドバイスいただいた漢字学習の手だては、本人もやりやすいとの感想をもった。</li> </ul>			
【 次年度への引継事項 】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の了解の下、担当医と直接連絡を取り合うようにする。</li> <li>・スクールカウンセラーとの相談は、同じようなペースで継続。</li> <li>・持ち物を確実に提出する支援を工夫する必要がある。</li> </ul>			
心 理 検 査	検 査 の 種 類 {		検 査 の 結 果 {
	検 査 者 名 {		検 査 月 日 { 年 月 日 }
	検 査 の 種 類 {		検 査 の 結 果 {
	検 査 者 名 {		検 査 月 日 { 年 月 日 }
【 特 記 事 項 】			
特になし			